



社会福祉法人

香川いのちの電話

通
信

第 81 号

相 談 電 話

みみをかたむけなやみゼロ

087-833-7830

F A X 相 談

むつんでいちばんしみじみ

087-861-4343

(24 時間年中無休)



シマシマめおん

写真提供 宮 武 則 明

香川いのちの電話活動に関わっての所感

事務局長 田中 暉彦

私が、香川いのちの電話の相談員として従事して 26 年になります。相談員養成講座の研修、訓練に始まり、その後電話相談員として毎月 8 時間以上の電話相談活動、月 1 回の班研修、年 3 回の全体研修等に関わってきました。その間先輩、同期、後輩の相談員や班研修におけるバイザー、中四国や関西のいのちの電話事務局長等から教えられ、励まされ、元気づけられてきました。一方理事・事務局長として、任務を与えられて電話センターの充実化・活性化に関わってきました。

現在当センターでは相談員 101 名、電話担当研修生 10 名の計 111 名で電話相談にあたっています。又、41 期研修生 15 名が養成講座に参加し、内 4 名は、相談員コースを希望しています。電話相談活動には通常電話活動に毎日 24 時間当たっています。この他、毎月 10 日の自殺対応フリーダイヤルとして 24 時間（昼間 2 時間刻み、夜間 3 時間刻み）対応し、コロナ禍フリーダイヤルは、毎週 4 日間、1 日 4 時間対応しています。両方のフリーダイヤル電話には 100%、フルに対応できています。通常電話は 10 時から 21 時までは、7 割以上担当出来ているものの、早朝、深夜の時間帯では、電話相談担当欄の空白が目立っており、女性相談員の複数担当制を取り入れる等していますが、空白時間の解消に苦慮しています。相

談員の不足が問題で、相談員養成講座の受講参加を希望しています。

尚、当センター 2021 年の年間担当件数は 8,950 件、内自殺傾向相談件数は 1,215 件（13.6%）で、全国 50 のいのちの電話センターの内 31 番目でした。全国 50 センターの年間相談件数は 534,167 件、うち自殺傾向相談件数は、65,713 件（12.3%）でした。

このように私たち相談員は全国の電話相談員約 6,000 名と連携して、生きるのに困難を覚え、悩み、苦しみ更には絶望のあまり命を絶とうとしている方々の良き隣人として、良き聞き手・話し相手、援助者の役割を果たすべく励んでいます。真剣に誠意を込めて対応しています。相談者からの問いかけは、多種多様であり、極めて深刻なものもあり対応に苦慮することもあります。時には心が通い合い、生きる希望、方向づけを気付かされた感謝されることもあります。今後とも与えられている使命の大切さを自覚して、仲間の相談員と共に働きを続けていきたいと願っています。

最後に香川いのちの電話が継続してその働きを担っていているのは、バイザーや後援者の皆さん、香川県、赤い羽根共同募金の支援、協力のおかげと感謝しています。

令和3年次 香川いのちの電話 受信・相談状況

(2021年1月1日～2021年12月31日)

相談総件数………8,950件(男性4,399件、女性4,551件)
自殺を訴えた相談件数…1,215件(男性552件、女性693件)

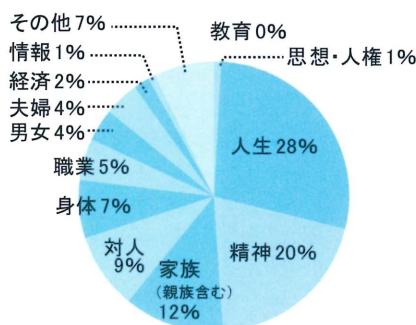
受信総件数………10,556件(無言で切れた件含む)
着信(話中)件数………44,862件(受信したが話中で繋がらなかった件数)

開局からの電話受信・相談状況
(1984年10月6日～2021年12月31日)

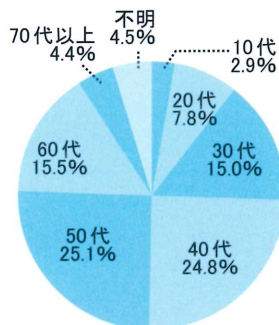
受信総件数…491,407件
相談総件数…360,421件

●香川いのちの電話 受信状況

【内容別相談件数】

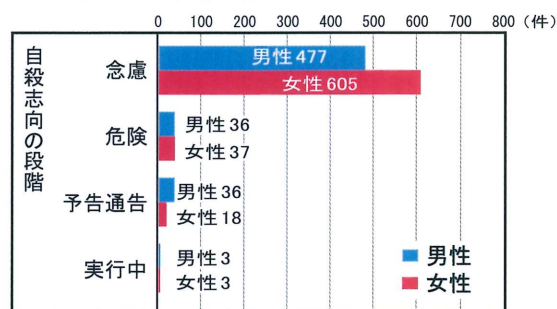


【年代別相談件数】

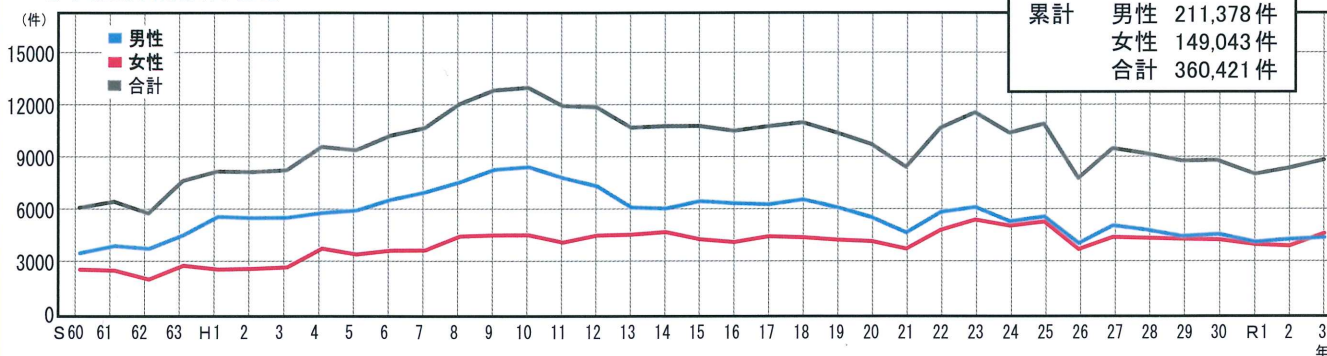


【自殺志向段階別相談件数】

自殺志向の総数を段階別に集計



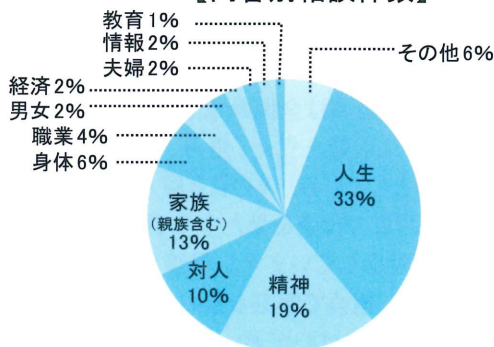
【年度別相談件数】



●自殺予防いのちの電話 受信状況(毎月10日のフリーダイヤル 受信状況)

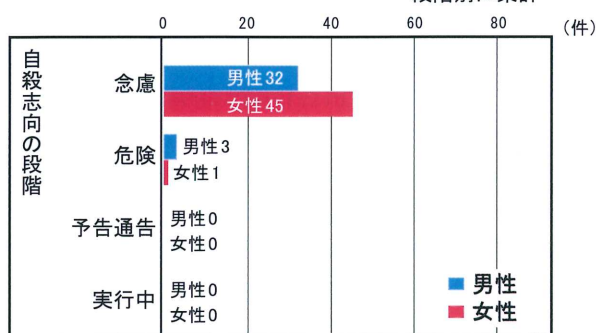
相談総件数………523件(男性231件 女性292件)
自殺を訴えた相談件数…81件(男性35件、女性46件)

【内容別相談件数】



【自殺志向段階別相談件数】

自殺志向の総数を段階別に集計



●コロナ禍対応電話相談 2020年3月頃からコロナ禍が顕著になり、全国のいのちの電話相談においても、不安や状況確認や対応策等の相談事例が目立ってきました。当香川いのちの電話においても2020年6月20日からコロナ禍対応特別フリーダイヤル活動に参加することとし、毎週月曜から、水曜を除く金曜までの16時から20時まで特別フリーダイヤル受信を実施することとしました。ただ、最近ではコロナ禍関連の直接的な電話相談件数は減少しているものの、通常電話相談と同じように人生、精神、家族等に関する深刻な相談は、毎日4時間途切れなく寄せられています。尚、昨年の1年間のコロナ禍電話受信回数は1633件でした。(但し上記、「相談総件数」に、含まれます)

令和 3 年度事業報告 (令和 3 年 4 月 1 日～令和 4 年 3 月 31 日)

● 養成講座・研修活動

- 第 39 期電話相談員認定式
令和 4 年 3 月 26 日 10 名
- 第 40 期電話相談員養成講座
開 講 式 令和 3 年 6 月 5 日
養成講座 令和 3 年 6 月 5 日～令和 4 年 3 月 26 日
修 了 式 令和 4 年 3 月 26 日
修 了 者 9 名
聴講生コース 令和 3 年 6 月 5 日～ 11 月
受 講 者 12 名
- 第 1 回全体研修会
令和 3 年 7 月 3 日
テーマ
「電話相談と私」
講 師 北濱雅子氏
- 第 2 回全体研修会
令和 3 年 10 月 9 日
テーマ 「相談員アンケート結果報告」
講 師 村上 治氏
- 第 1 回全体集会
令和 3 年 10 月 9 日
テーマ 「電話担当時間について」
- 第 2 回全体集会
令和 4 年 2 月 27 日
テーマ 「相談活動の充実についての話し合い」

● 各種会議

- 理事会
令和 2 年度事業報告・決算報告
令和 3 年度事業計画・予算審議等
令和 3 年 5 月 26 日～ 4 回開催
- 評議員会
令和 2 年度事業報告・決算報告
令和 3 年度事業計画・予算審議等
令和 3 年 6 月 19 日～ 2 回開催
- 班長会
令和 3 年 4 月 28 日～令和 4 年 2 月 4 日まで 4 回開催

● 委員会活動

- 活性活動委員会
令和 3 年 4 月 26 日～ 12 回開催
- 研修委員会
- 担当委員会(毎月開催)
- 統計委員会
- 広報委員会
- 中・四国いのちの電話ブロック会議(Web 会議)
令和 4 年 3 月 18 日
田中暉彦事務局長参加(香川)

実施中

香川いのちの電話

コロナ禍対応
電話相談フリーダイヤル

0120-783-556

【期間】 2021 年 4 月 1 日～ 2023 年 3 月 31 日

【時間】 16:00～20:00

月・火・木・金 曜日



資金収支計算書 (自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算 (A)	決算 (B)	差異 (A) - (B)
事業活動による収支	事業収入	3,122,000	3,121,000	1,000
	負担金収入	300,000	435,000	△135,000
	経常経費寄附金収入	2,840,000	4,512,073	△1,672,073
	受取利息配当金収入	0	92	△92
	その他の収入			
	事業活動収入計 (1)	6,262,000	8,068,165	△1,806,165
	人件費支出	2,000,000	1,225,080	774,920
	事業費支出	2,026,000	2,321,449	△295,449
	事務費支出	2,236,000	1,913,073	322,927
	事業活動支出計 (2)	6,262,000	5,459,602	802,398
	事業活動資金収支差額 (3) = (1) - (2)	0	2,608,563	△2,608,563
に施設整備等による収支	収入			
	施設整備等収入計 (4)	0	0	0
	支出			
その他の活動による収支	施設整備等支出計 (5)	0	0	0
	施設整備等資金収支差額 (6) = (4) - (5)	0	0	0
	収入			
その他の活動による収支	その他の活動収入計 (7)	0	0	0
	支出			
	その他の活動支出計 (8)	0	0	0
その他の活動による収支	その他の活動資金収支差額 (9) = (7) - (8)	0	0	0
	予備費支出 (10)	0	—	—
	当期資金収支差額合計 (11) = (3) + (6) + (9) - (10)	0	2,608,563	△2,608,563
前期末支払資金残高 (12)		0	9,421,963	△9,421,963
当期末支払資金残高 (11) + (12)		0	12,030,526	△12,030,526

事業活動計算書 (自)令和3年4月1日 (至)令和4年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算 (A)	前年度決算 (B)	増減 (A) - (B)
サービス活動増減の部	事業収益	3,121,000	3,116,000	5,000
	負担金収益	435,000	390,000	45,000
	経常経費寄附金収益	4,512,073	3,781,006	731,067
	サービス活動収益計 (1)	8,068,073	7,287,006	781,067
	人件費	1,225,080	1,697,400	△472,320
	事業費	2,321,449	2,216,741	104,708
	事務費	1,913,073	1,959,660	△46,587
	減価償却費	590,625	590,625	0
	(国庫補助金等特別積立金取崩額)	△488,479	△488,479	0
	サービス活動費用計 (2)	5,561,748	5,975,947	△414,199
増減の部	サービス活動増減差額 (3) = (1) - (2)	2,506,325	1,311,059	1,195,266
	受取利息配当金収益	92	72	20
	その他のサービス活動外収益			
	サービス活動外収益計 (4)	92	72	20
	費用			
	サービス活動外費用計 (5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額 (6) = (4) - (5)	92	72	20
	経常増減差額 (7) = (3) + (6)	2,506,417	1,311,131	1,195,286
	特別増減の部			
	特別収益計 (8)	0	0	0
繰越活動増減差額の部	特別費用計 (9)	0	0	0
	特別増減差額 (10) = (8) - (9)	0	0	0
	当期活動増減差額 (11) = (7) + (10)	2,506,417	1,311,131	1,195,286
	前期繰越活動増減差額 (12)	5,456,577	4,145,446	1,311,131
	当期末繰越活動増減差額 (13) = (11) + (12)	7,962,994	5,456,577	2,506,417
	基本金取崩額 (14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額 (15)	0	0	0
	その他の積立金積立額 (16)	0	0	0
	次期繰越活動増減差額 (17) = (13) + (14) + (15) - (16)	7,962,994	5,456,577	2,506,417

貸借対照表 令和4年3月31日現在

(単位:円)

資 産 の 部				負 債 の 部			
科 目	当年度末	前年度末	増減	科 目	当年度末	前年度末	増減
流動資産	12,473,150	9,777,582	2,695,568	流動負債	442,624	355,619	87,005
固定資産	26,353,402	26,944,027	△590,625	固定負債	0	0	0
基本財産	26,353,400	26,944,025	△590,625	負債の部合計	442,624	355,619	87,005
その他の固定資産	2	2	0	純 資 産 の 部			
				基本金	29,490,268	29,490,268	0
				国庫補助金等特別積立金	930,666	1,419,145	△488,479
				次期繰越活動増減差額	7,962,994	5,456,577	2,506,417
				次期繰越活動増減差額	7,962,994	5,456,577	2,506,417
				(うち当期活動増減差額)	2,506,417	1,311,131	1,195,286
				純資産の部合計	38,383,928	36,365,990	2,017,938
資産の部合計	38,826,552	36,721,609	2,104,943	負債及び純資産の部合計	38,826,552	36,721,609	2,104,943

令和3年度社会福祉法人 香川いのちの電話協会の理事の業務執行及び法人の財産管理・業務執行状況ならびに会計に関する財産目録、貸借対照表および収支計算書については、関連する法令および通知に従った監査の結果、事業の運営および会計上、適法・正確に処理されているものと認めます。

監 事 大西 均
監 事 河村 弘子



2022 年度 第 1 回相談員研修会報告

開催日時 2022 年 5 月 28 日(土)13:00 ~
会 場 香川県社会福祉総合センター 7 階
参加者数 33 名

演題「ネット・ゲーム依存について」

講師 「香川いのちの電話」スーパーバイザー
河崎 敦子 先生

5月28日に「ネット・ゲーム依存について」というテーマで、スーパーバイザーの河崎先生を講師にお迎えして相談員研修会を開催いたしました。

講義では、次のようなことを学びました。

- ・依存症と言われる状態になると、依存物を使用しているときに普通の気分で、使用していないと不幸な気分になる。
- ・2019年5月のWHO総会で、「ゲーム障害」が正式に依存症として認められた。
- ・ネット・ゲーム依存の発症のついての仮説として、発症促進要因（リアルでの生活での不安全感、何かにはまりやすい性格、ゲーム自体のはめさせるしくみなど）と発症抑制要因（リアルでの生活での充実感、ストレスへの対処スキル、将来の目標など）のバランスが、促進要因の方がより大きくなると発症し、抑制要因が大きくなると発症が抑えられる、という考え方がある。
- ・快楽を求めてネット・ゲームにはまるのではなく、現実生活のさまざまな苦痛（家族不和、学校生活の不安全感など）を和らげるためにネット・ゲームにはまるという場合も多い。本人なりの生き抜く術だったかもしれない。
- ・最近のネット・ゲームは依存しやすいような特徴を持っており、親もネット・ゲームについて学んで知識を得ておくことが大切である。

研修を受けての感想は次のようなものでした。

- ・フリーダイヤル研修アンケートの結果
内容についての満足度では、5段階評価で全員の参加者から高い評価を得ました。
- ・コーラーからゲームの話をされても、もっと軽いものだと思っていたが、はまり込むと大変な世界だと思う。
- ・「本人なりに生き抜くための術」という言葉にハッとさせられた。
- ・ゲームを取り上げてしまっただけでは、本当に生きられなくなる子も出てくることがわかった。
- ・ネット・ゲームの実態について知り、依存症について考えるときは、依存対象について知る、関心を持つことから始まると思った。



この事業の経費の一部には共同募金の助成金を充てています。

支援者を訪ねて 36

N.M.氏

今回は、個人で長年ご支援を頂いているN.M.様をお訪ねして、いのちの電話だけでなく他の社会活動にも携わり長年にわたって活動を続けてこられた想いも聞かせて頂きました。

—本日はお忙しい中、無理を申しまして、お時間を頂きありがとうございます。

わざわざいらして頂きありがとうございます。

—長年、ご支援を頂き大変有難く思っているのですが、どういう想いでいのちの電話へ支援を続けられているのか、お聞かせいただけますでしょうか？

相談員として加わらせていただいた約15年の体験から、いのちの電話は誰かの役にたっているということを強く感じていますし、いのちの電話が続いて欲しいという願いからです。

コロナ禍で電話相談内容も変わってきているのではないですか？

—香川いのちの電話もコロナ関連対応のフリーダイヤルも実施しております。確かにコロナが原因で経済的に苦しくなって、精神的に不安定になり日常生活が難しく、と言った電話もありますね。地域差もあるかと思いますが、香川のいのちの電話の相談内容が変わったという認識は余りないのです。

いのちの電話は地味な活動をずっと続けてらっしゃる。相談員の募集は毎年しているのですよね。応募者はそこそこいらっしゃる？

—そうですね。そこそこですね。社会状況も変化していますし、最近は資格を持った若い人も多いです、有償のボランティア活動と思って応募される方も増えていますね。

いのちの電話も昔のまま、旧態依然ではなく、どうやって進んで行くかを考える時期でしょうか。

—社会活動として、いのちの電話への支援の他に豊島問題にも長年関わってこられたとお聞きしています。関わりを持たれるようになったそのいきさつは？

子どもが通学していた学校関連の問題への「おかしい、納得できない」という疑問と関心から県議会

の傍聴に通ったりしていた時に、同時期に豊島の皆様も産廃問題で県庁に通われていて、お会いしたことが始まりでした。豊島の事は何も知らなかった私に関心を持ち始め、「豊島は私たちの問題ネットワーク」の事務局担当を、産廃処理終了の見通しが立つまで続けました。

現在は豊島で農作業体験をしながら自然を楽しもう!!と「豊島棚田クラブ」に関わって活動を続けています。

—「おかしい、納得できない」ことを「黙っておれない」という想いが活動の原動力でしょうか？

原動力。やっぱり黙っていても伝わらない。言う事は言わないといけない。

自分の言うことがあるわけだけど、相手の方も言いたいことがあるわけですね。一先ず相手の方の話を聞くということを学びましたね。

—それはいのちの電話の傾聴ということにも繋がりますね。

社会活動にずっと関わってこられて、その間、ご家族の協力が大きかったのではないのでしょうか？

そのことに関しては、夫が「干渉しない」と言ってくれました。このことが大きな支えですね。本業に差し支えなければ何をしても大丈夫でした。

—生活信条がおありでしたらお聞かせください。

「昨日と同じ今日があればよいのになあ」

自分の気持ちに素直に。有難い1日がすごせれば。

—自分の気持ちに素直にと言うことを、ずっと徹してこられたのですね。

これからの人生をどういう風に思われていますか？

穏やかに終わりたいと思っています。

—今日は色々なお話をして頂きました。長時間、本当にありがとうございました。

インタビューのなかでのN.M.様の、状況の変化に対応して香川いのちの電話も旧態依然ではなく進んで行かなくてはとの指摘は、相談員全員が真摯に受け止める必要があると考える。

(聞き手：芳野/入江)

わたしといのちの電話

相談員の声

「いのちの電話」が、つながらない

メディアによる有名人の自殺報道が視聴者の自殺を誘発する事象がつとに指摘されており、最近その対策の一つとして当該ニュースに「いのちの電話」など関係機関の電話番号が併せて紹介されるようになった。自殺予防対策として、一歩前進ではある。しかし課題はその先に半ば自動的に先送りされた。電話を掛けても、つながらないのである。これが企業のコールセンターであれば、本社代表電話に抗議が殺到しかねないだろう。

実際「いのちの電話」に掛けてくる方の話をうかがっていると、とりわけ希死念慮が高まるとされる深夜帯（21:00～翌6:00）が惨状を呈している。「100回掛けて一度つながるかどうか」、「以前一週間掛け続けて一回程度はつながっていたが、最近はそれさえもつながらなくなった」、「24時間対応を謳う全国22のセンターの番号を暗記しており北海道から順番に掛けていくが、どこもつながらない」。この手の嘆きには枚挙にいとまが無い。

全国的に電話相談の高齢化・相談員数の減少は、関係者にとっては周知の事実である。ただ「だから、仕方が無い」では、「いえいえ、あ

なたの首の上に付いているのは何ですか」と問いたくなる。電話相談活動に対する相談員の見識や意思は、突き詰めれば恐らく次のA・Bいずれかに集約されていくのではないかな？

A お金を貰っているわけではないのだから、時間の空いたときに最低限決められたことさえすればいい（だから、あとのことは知らない）、つまり自己本位志向。

B 相談電話の受信状況など組織を巡る諸課題に対して大所高所から自分に何ができるかを考え、一つからでも行動に移していく、他者貢献志向。

電話相談の対象は、あまねく老若男女に及ぶ。それを前提としつつ、例えば「老々介護」「孤独死」という言葉が、また増加の一途を辿る生活保護受給世帯のうち高齢者世帯が約55%を占めるなどの統計が示すように、超高齢化した日本は概に強烈な格差社会に踏み込んでいる。そうした社会の現実に対して「いのちの電話」がどう・どこまで対応していけるか？各電話相談員自身、諸状況あれど一人一人の覚悟が今日ほど問われている時代はないのではないかな？

（相談員 K・F）



香川いのちの電話
「思いつめずに一緒に話そう」

電話相談 **087-833-7830**
FAX相談 **087-861-4343**

24 時間年中無休

自殺予防いのちの電話

フリーダイヤル 0120-783-556

毎月 10 日
午前 8:00 ～ 翌日午前 8:00

§ご支援ありがとうございます§

令和3年4月～令和4年3月

香川いのちの電話にご寄付を賜りまして、心より感謝申し上げます。

団体

※敬称を省略しています

出雲大社高松大詞
医療法人社団 宅光会
(株)ウエイ企画
(株)香川銀行本店営業部
(株)兼子
三和エコ&エナジー(株)
シコク環境ビジネス(株)

社会福祉法人みくに園
菅原眼科医院
田代・菊池法律事務所
大工町自治会
とみおか内科クリニック
日本キリスト教団高松教会
平井クリニック

森岡皮膚科
(有)オートボデー三谷
(有)ユービル企画

個人

※敬称を省略しています

秋山 知子	小畑 春雄	澤口 俊彦	名和 詔子	本田 真知子	安岡 恵美子
石田 達也	桂 美鈴	篠原 良平	西井 弘生	前場 依子	矢野 真知子
今岡 直美	亀井 清志	嶋本 和子	野崎 博文	増井 武彦	行成 輝美
今滝 則男	川上 敬	島津 昌代	橋本 美香	松村 俊典	芳野 紀子
入江 栄子	河崎 敦子	清水 和美	蓮井 薫夫	丸尾 文子	吉村 崇彦
上岡 恒美	梶 正治	高木 晴美	蓮井 孝夫	丸尾 寛	
植田 中子	梶 由美	滝 由紀子	濱 好美	松崎 ミツ子	
上野 裕子	木内 将美	田代 建	日高 良和	眞鍋 夏海	
大上 美智子	木村 幸二	多田 羅淑子	日比野 玲子	眞屋 正明	
太田 明秀	北濱 雅子	田中 暉彦	福本 みゆき	三島 尚武	
大西 千世	木下 知可	田中 良子	福家 美津子	三好 千代子	
大塚 泰子	窪田 恵子	津川 眞知子	福家 俊二郎	村上 治	
大佛 光顕	熊田 寿子	富岡 幸生	藤野 典保	村上 清信	
大熊 利幸	久米 一江	中原 君子	藤田 耕正	森 雅彦	
岡本 久美子	黒河内 美鈴	長澤 知恵	古澤 光子	安井 正明	

「いのちの電話」はあなたのご支援を必要としています

いのちの電話の活動は、多くの善意あるボランティアの無償の奉仕によって支えられています。眠らぬダイヤルの施設維持費、相談員研修費、広報活動など、年間800万円の資金が必要となっています。ボランティア活動である「いのちの電話」は、それを支える財政的基盤は大半が市民の、あるいは企業や諸団体からの寄付や、県、赤い羽根共同募金の支援金で支えられています。ひとりでも多くの方に資金ボランティアとして関わってくださいますよう、お願い申し上げます。

【寄付金】 金額はご随意です。クリスマス、歳末など折にふれてご協力下さい。

＜振込先＞

社会福祉法人香川いのちの電話協会
理事長 松岡 定幸

《お振込みは下記のいずれかをご利用下さい》

- ・ 百十四銀行本店（普）1473589
- ・ 香川銀行本店（普）1389129
- ・ 高松信用金庫本店営業部（普）4821464
- ・ ゆうちょ銀行 16300-18465371
- ・ 郵便振替 01600-5-9348

宮武則明プロフィール（2006.6より写真提供者）

1941年高松市生まれ。写真家。著書に「讃岐の町並」他9冊（讃岐写真作家の会刊）「ふるさとを訪ねて」がある。現在「ギャラリーMON」（高松市朝日町）に年2回作品展に出品。「ふれあいえんざ」「香川いのちの電話」などで撮影活動中。高松市円座町在住。

発行所 社会福祉法人 香川いのちの電話協会

〒760-8691 高松市中央郵便局 私書箱152号

電話 (087) 861-7065

E-mail kind@tiara.ocn.ne.jp HP <http://www.kind-kagawa.org/>

発行日 令和4年7月

発行人 松岡 定幸 編集 広報委員会 / 事務局